

あわら市郷土歴史資料館 出前授業一覧

授業番号	授業名	想定科目	想定対象	時間	内容
1	昔の道具に触れてみよう！	社会科	小3	45分	食べ物の調理器具や暖房具など、昔のあわら市で実際に使われていた道具に触れながら、昔の暮らしについて学びます。
2	あわら市のお宝越前狒犬を知ろう！	総合的な学習の時間	小3以上	45分	あわら市内に多く残る江戸時代以前に造られた狒犬。実は貴重な存在であるこれら越前狒犬について学びます。
3	歴史に学ぶ防災	社会科	小4	45分	あわら市で過去に起きた各種の災害について学び、今後同様の災害が起きた時の行動について考えます。
4	あわら市の縄文時代の暮らし	社会科	小6	45分	あわら市の縄文時代について、桑野遺跡（金津地区）から出土した縄文時代の最高級アクセサリーを中心に学びます。
5	あわら市の伝統産業越前瓦	総合的な学習の時間	小6、中1	小45分 中50分	あわら市の伝統産業であった越前瓦について、実物に触れながら学びます。
6	見て感じる校区の歴史と文化	総合的な学習の時間	小3～中2	小135～180分 中150～200分	学芸員が同行して各校区の文化財を実際に巡り、郷土への理解を深めます。
7	校区の歴史と文化を学ぼう	総合的な学習の時間	小6～中2	小45分 中50分	各学校ごとに校区の歴史や文化財について学び、各地域の特色を考えます。



上掲以外でもできるものがありますのでご相談ください
 詳しい資料はHPで確認できます
 （申請書もダウンロードできます）

出前授業計画案

1. 対象 小学校3年生（社会科授業を想定）
2. 授業名 「昔の道具に触れてみよう！」（45分）
3. 授業のねらい 昔の道具に実際に触れて、何に使う道具かを想像するとともに色や形、素材などをじっくりみることで、道具に込められた昔の人の知恵や工夫を発見します。昔の道具を通して、昔の暮らしの様子や昔の人の苦勞、暮らしをよりよくするために道具が変わってきたことを知ってもらう機会を作ります。
4. 学校側の準備物 外部メディアの接続できるパソコン、プロジェクター、スクリーン、長机2脚

5. 授業の展開

時間例	学習活動	指導上の留意点・活動の流れ	資料
5分	【導入】 学習の目的を確認する	昔の道具に実際に触れてみることで、昔の人の知恵や工夫を発見し、昔の暮らしの様子や道具の移り変わりを学びます。	パワーポイント
20分	【学習1】 道具に触れてみよう	道具に触れてもらい、何に使う道具かを自由に想像し予想します。予想したこと、触ってみて気が付いたことなどをワークシートに記入します。	ワークシート 実物の昔の道具
15分	【学習2】 道具の答えと解説	予想を何人かに発表してもらい、道具の答えと解説を行います。解説をする際は、道具を使っている写真（写真がある場合に限り）や教科書の挿絵、イラストなどを使用しながら行います。	パワーポイント （写真）
5分	【まとめ】	授業の感想を述べたり、質問に対してお答えします。	

6. 参考画像



昔の道具の授業風景



昔の道具の見学風景

○ワークシートの一例



○何に使う道具かな？

(解答例) 夏に炊いたご飯を保存する入れ物

○さわった感じや素材、色や形はどうか？

(解答例) 軽くて丈夫そう。竹でできている。
茶色っぽい。底がへこんでいる。

○現在使われている道具は何か？

(解答例) 炊飯器

○お持ちする道具の一例

食べ物の調理に使う道具



お釜



鉄鍋

暖房具



置炬燵



行火 (バンドコ)

「食べ物の調理に使う道具」「暖房具」のほかにも、授業で使ってみたい道具のご希望があればご相談ください。

出前授業計画案

1. 対象 小学校3年生（他学年も可、「総合的な学習の時間」を想定）
2. 授業名 「あわら市のお宝越前狒犬を知ろう！」（45分）
3. 授業のねらい 石造狒犬は全国の神社でよく見かけますが、ほとんどが明治、大正、昭和に作られたものです。しかし、福井県には江戸時代より以前に、特産の^{しゆくだに}笏谷石で作られた石造狒犬、通称「越前狒犬」が多く現存しています。
あわら市にもたくさん残されているので、校区にある越前狒犬を調べ、地元の貴重なお宝を知り、郷土愛を深めます。
4. 学校側の準備物 外部メディアの接続できるパソコン、スクリーン、プロジェクター

5. 授業の展開

時間例	学習活動	指導上の留意点・活動の流れ	資料
5分	【導入】 学習の目的を確認する	日常で何気なく見ている風景の中でも、気づいていないお宝があることを知ってもらいます。	パワーポイント
10分	【学習1】 狒犬がどのようなものか知る	以下の内容を学びます。 ・狒犬のルーツ ・狒犬の歴史 ・狒犬の存在意義	パワーポイント (写真)
10分	【学習2】 越前狒犬について学ぶ	以下の内容を学びます。 ・越前狒犬の特徴 ・越前狒犬のどこがスゴイ？	パワーポイント (写真)
10分	【学習3】 地元にある越前狒犬を学ぶ	以下の内容を学びます。 ・校区の中でどこに越前狒犬がいるか？ ・それらはどのような特徴があるか？	パワーポイント (写真)
10分	【まとめ】	校区内にある狒犬を実際自分で見に行ってみようと促すとともに、以下の内容も確認します。 ・貴重なお宝が他にもあるかもしれないこと ・文化財を大事にすること	

※オプションとして、地元の越前狒犬を見て回る授業も追加できます。

6. 参考画像



一番古い越前狛犬（沢・春日神社蔵）
（福井県指定文化財）

越前狛犬とは

(1) 越前産の笏谷石を使用している

(2) 一定の様式を満たすもの

- ①姿：前肢は立てて胸を張りだし、後肢は折り曲げて台座の上に座する
- ②髪型：頭頂部は平坦で、たてがみは房状の浮彫、もしくは陰刻線彫が施されている
- ③尾：短く背に沿わせており、二条と一糸がある。また、先端が巻き毛になっているものもある



- ④旋毛：前後肢の付け根部や関節部に一巻きないし二巻きのものがある
- ⑤歯爪：顕著に表現されている
- ⑥雌雄：古いものの呼称に角と鎌のシンボルが見られることがある



三井紀生2013「中・近世における越前狛犬の特徴と地方進出について」『若越郷土研究57-1』参照

授業資料（参考）1

越前狛犬って何がすごいのか？

- (1) 汎用の石造狛犬の中では、全国でも古い事例
→古い事例では「丹後狛犬」「肥前狛犬」があります



京丹後市 高森神社
（文和四(1355)年銘）



唐津市 熊野神社
（天正年間奉納）

- (2) 広域に流通していた。

→北は北海道、西は広島県、南は三重県（2013年調査時点）
（他に広域流通したのは江戸時代後期から生産される出雲型などがある）

- (3) 残存数が多い

→あわら市内だけで400体以上、県内では1000体以上！
（県外では約200体確認されている（2013年調査時点））

全国ほとんどの地域では、江戸時代以前の石造狛犬は1対あればスゴイこと

授業資料（参考）2

参考1 あわら市指定越前狛犬



仏徳寺天満神社石造狛犬
（2対）
（天文十三(1544)年銘）

根上り神明神社石造狛犬
（1対）
（元禄十四(1701)年銘）

伊井白山神社石造狛犬
（1対）
（文化十二(1815)年銘）

授業資料（参考）3

掲載した「授業資料（参考）」は大人向け講座で使用したものです。実際の授業では学年に合わせた形で説明します。

出前授業計画案

1. 対象 小学校4年生（社会科授業を想定）
2. 授業名 「歴史に学ぶ防災」（45分）
3. 授業のねらい あわら市が過去に経験した各種災害（火災以外の各種事故などは除きます）について学び、今後同様の災害が起きた時にどのように行動すればよいのかを考える機会を作ります（消防訓練のような体を動かしての学習ではなく、歴史的事実や情報を中心に学習します）。学校によっては、校区別の災害例もご紹介します。
4. 学校側の準備物 外部メディアの接続できるパソコン、スクリーン、プロジェクター

5. 授業の展開

時間例	学習活動	指導上の留意点・活動の流れ	資料
5分	【導入】 学習の目的を確認する	これから起こる災害に備えられるように、過去に起こった各種の災害（火災、地震、津波、雪害、感染症、風水害、干ばつ、噴火、地滑り、落雷、飢饉など）について学びます。	パワーポイント (写真)
15分	【学習1】 あわら市内で起こった災害を知る	あわら市域で過去に発生した災害を紹介します。福井地震、芦原大火を中心に、豪雪・感染症・噴火・飢饉など、通常の消防訓練ではあまり触れられない災害にも言及します。	パワーポイント (映像、写真、記録)
15分	【学習2】 災害で被る損害と復興	・各災害でどのような被害があったか、人・住宅・農地・インフラ被害などについて説明します（体験談なども紹介しますが、小学生対象のため、あまり生々しい説明にならないよう留意します）。 ・災害後の復興と対策を紹介します（都市計画、ハザードマップ、防災行政無線など）。	パワーポイント
10分	【まとめ】	自分や家族が災害被害を受けないために、それぞれの災害からどんなことを考えるかを発表してもらい、必要な助言を行います。	

出前授業計画案

1. 対象 小学校6年生（社会科授業を想定）
2. 授業名 「あわら市の縄文時代の暮らし」（45分）
3. 授業のねらい 市内の桑野遺跡から見つかった縄文土器や石器の実物に触れてもらい、これらがどのように使われたのかを想像し、昔のあわら市に住んでいた人々が縄文時代にどのような暮らしをしていたのかを考えてもらいます。
また、桑野遺跡で見つかった国指定重要文化財に指定されている^{けっじょう}玦状耳飾りについても学び、郷土への誇りを育てます。
4. 学校側の準備物 外部メディアの接続できるパソコン、プロジェクター、スクリーン、長机2脚

5. 授業の展開

時間例	学習活動	指導上の留意点・活動の流れ	資料
10分	【導入】 縄文時代について学ぶ	縄文時代の人々はどのような生活をしていたのか、縄文時代のあわら市はどのようなところだったのかを学びます。	パワーポイント (写真)
10分	【学習1】 桑野遺跡について学ぶ	あわら市にある縄文時代の遺跡として桑野遺跡を紹介します。 桑野遺跡から見つかった玦状耳飾りについて知ってもらいます。	パワーポイント (写真)
20分	【学習2】 実物に触れ考える	桑野遺跡でみつかった縄文土器と石器を実際に触ってもらい、何に使ったものか考えてもらいます。	桑野遺跡でみつかった縄文土器、実物の石器
5分	【まとめ】	あわら市に住んでいた縄文時代の人々がどのような暮らしをしていたのか、要点をまとめます。	

6. 参考画像



授業で使用する縄文土器



授業で使用する石器



国指定重要文化財玦状耳飾ほか（レプリカ触れます）
※製作体験（実費負担）もできますので相談ください

出前授業計画案

1. 対象 小学校6年生、中学校1年生（「総合的な学習の時間」として想定）
2. 授業名 「あわら市の伝統産業 越前瓦」（小45分、中50分）
3. 授業のねらい あわら市では江戸時代から瓦作りが盛んに行われ、一時期は福井県内で生産された瓦の3分の1があわら市で作られているほどでした。地域を代表した伝統産業である越前瓦を知り、地域を誇れる人材を育みます。
4. 学校側の準備物 外部メディアの接続できるパソコン、プロジェクター、スクリーン、長机2脚
5. 授業の展開

時間例	学習活動	指導上の留意点・活動の流れ	資料
10分	【導入】 瓦とは何かを知る	地元の瓦を勉強する前に、一般的な瓦の歴史や特徴など、瓦がどのようなものを知るところから始めます。	パワーポイント
15分	【学習1】 越前瓦を知る	地元の伝統産業品である越前瓦の歴史や特徴を学びます。その上で、他より優れていたところを学び、郷土の誇りを持てるようにします。	パワーポイント
15分	【学習2】 実物に触れる	実物の越前瓦に触れることや、観察することで、越前瓦への理解を深めます。	実物の越前瓦 （鬼瓦・軒瓦など）
5分	【まとめ】	あわら市をアピールするときに、越前瓦を材料の一つとしてどのように使うか、考えて発表してもらいます。	

6. 参考画像



実物に触れながらの授業

授業資料



さわれる瓦の例 1

滝白山神社の鬼瓦（江戸時代）

さわれる瓦の例 2

本荘小学校東善寺分校の瓦（昭和時代）



さわれる瓦の例 3

越前赤瓦（左から軒瓦・丸瓦・平瓦、江戸時代）

出前授業計画案

1. 対象 小学校3年生～中学2年生（「総合的な学習の時間」として想定）
2. 授業名 「見て感じる校区の歴史と文化」（小 135～180分、中 150～200分）
3. 授業のねらい 学芸員と一緒に実際に校区の各所を見学します。現地で学芸員の解説を聞きながら、自分が通っている学校周辺の歴史や文化に触れて学ぶことにより、郷土への理解を深め、親しみや愛着を育てます。
4. 学校側の準備物 バス（歩きの場合は不要）
5. 授業の展開 「見て感じる校区の歴史と文化」

時間例	内容
135分 ～ 180分	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の校区に残る文化財を学芸員の解説を聞きながら見学します。 ・見学場所は先生方のご要望を聞きながら決定します。 ・見学場所で許可が必要なところは資料館が交渉します。 ・見学数は時間と交通手段により変動しますが、4～6カ所程度となります。

6. 参考画像



授業風景

伊井小学校6年生 歴史散策コース

実施：3月6日午後2時～3時30分予定



- ①東大寺領 桑原荘の話 →市指定文化財「漆碗」を持参して見てもらいながら説明します。
- ②伊井地区の遺跡の話→「玉作り」関係の遺物を見てもらいながら説明します。
- ③菅野古墳群（1）→この地域の古墳の話をすると共に、身近な古墳を観察してもらいます。
また、この古墳から採集されている遺物も観察してもらいます。
※遠方より眺める
- ④菅野古墳群（2）→一円墳 ※下から眺める
- ⑤菅野古墳群（3）→前方後円墳 ※遠方から眺める
- ⑥清間遺跡と竹田川→清間遺跡の遺物を見ながら、昔の竹田川の役割を説明します。

☆歩きながら伊井地区の江戸時代の石高の話などともしたいと思います。

授業プラン例 1



本荘小学校3年生 地区の歴史と自然をめぐる会 (案)

授業プラン例2

※これら授業プランは過去の一例です。見学コースは各学校ごとに、ご相談を受けながら決めていきます。

本荘小学校 出発 9:30

(1) 堀江一族の墓 (小学校隣) 10分 (解説:九千房)

↓ (移動:バス 10分)

(2) 堀江公番田館跡 (市指定史跡) 15分 (解説:長谷川氏 (市文化財保護委員))

9:50

・民話「三枚の鱗」に係る堀江氏のお話

↓ (移動:徒歩 5分)

(3) 上重橋 10分 (解説:九千房) 10:10

・竹田川の話

↓ (移動:バス 5分)

(4) えちぜん鉄道 本荘駅 (国登録有形文化財) 10分 (解説:九千房) 10:25

・えち鉄は何年前にできたか?

・この建物のいいところをみんなで探そう!

↓ (移動:バス 5分)

(5) 福円寺・輪転経蔵 (市指定文化財・建造物) 15分 (解説:住職) 10:40

・経蔵を1回転させるとそこに収められているお経を全部読んだ功德が得られる。

↓ (移動:バス 10分)

(6) 教授院 (市指定文化財・彫刻) 15分 (解説:教授院管理寺) 11:05

・民話「住屋の松樹院」に係る寺院のお話し

↓ (移動:バス 15分)

本荘小学校 11:35 着

合計:125分程度

出前授業計画案

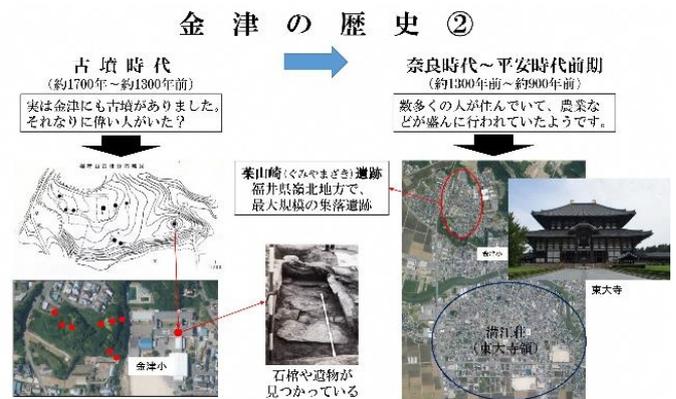
1. 対象 小学校6年生～中学2年生（「総合的な学習の時間」として想定）
2. 授業名 「校区の歴史と文化を学ぼう」（小45分、中50分）
3. 授業のねらい 自分が通っている学校周辺の歴史や文化財を知ること、その地域の成り立ちを理解し地域の特徴を学びます。自分の生活している地域が、他とは違う特徴があると知ることで、地元への親しみや愛着、誇りを育てます。
4. 学校側の準備物 外部メディアの接続できるパソコン、プロジェクター、スクリーン、
5. 授業の展開

時間例	学習活動	指導上の留意点・活動の流れ	資料
5分	【導入】 学習の目的を確認する	自分たちがどのような地域に住んでいるのかについて、他の地域との違いを学んで考えます。	
15分	【学習1】 校区の歴史	縄文時代から近代までの、地域の歴史の概説を紹介します。	パワーポイント
15分	【学習2】 校区の文化財	各校区に残る、地域の文化財を紹介します。	パワーポイント (写真)
10分	【まとめ】	授業を通じて印象に残ったものを発表し、自分ならこの地域をどのようなところでアピールするかを考えます。	

6. 参考画像



授業風景



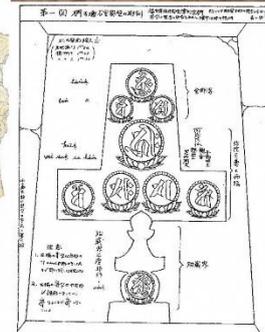
地域の歴史を伝える授業資料（参考）

劔岳地区



櫛古墳(石室)
(県指定文化財 史跡)

径約30m、高さ約5mの円墳で横穴式石室を持っており、古墳時代後期の構造を持っています。奥壁に梵字がと五輪塔が刻まれており、中世に僧侶がここで修行をした跡と思われます



櫛古墳の石室奥壁

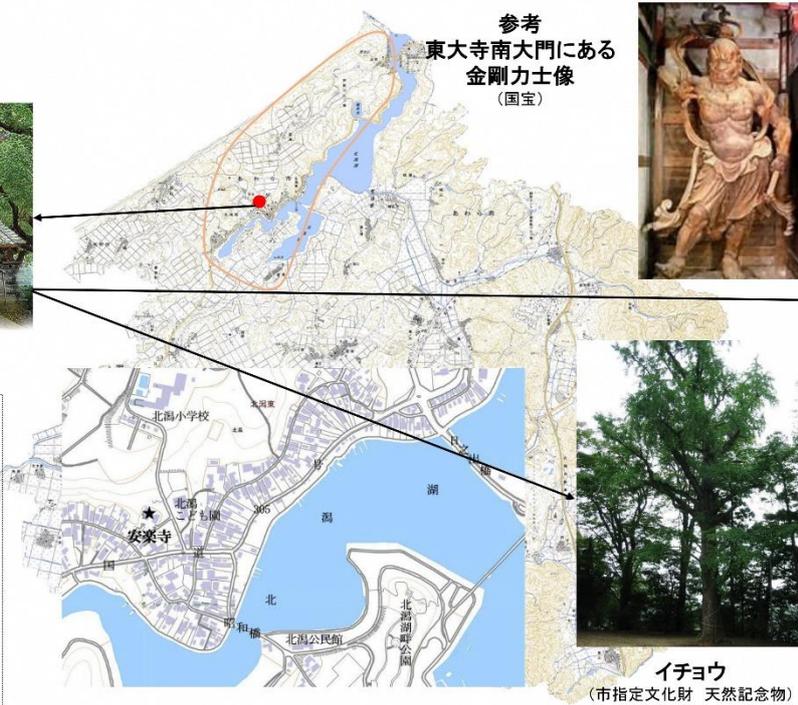
地区の文化財を紹介する資料 1 (劔岳地区)

北潟地区



安楽寺
(真言宗)

安楽寺は養老二(718)年、泰澄大師によって建てられました。大師が薬師如来を彫刻して本尊とし、一字を建立して安置したのが、この寺の始まりと伝えられています。



参考
東大寺南大門にある
金剛力士像
(国宝)



木造執金剛神像(吽像)
(県指定文化財 彫刻)

鎌倉時代の作と推定され、刀法は慶派(運慶・快慶・湛慶)の流れをくみ、県内では異彩を放つ優れた像です



イチョウ
(市指定文化財 天然記念物)

地区の文化財を紹介する資料 2 (北潟地区)

掲載した各資料は参考です。実際の授業では学年に合わせて内容を検討します。